

2026 年度事業計画

自 2026 年 10 月 1 日

至 2027 年 9 月 30 日

はじめに

2023 年 3 月に京都府向日市に開館した永守コレクションギャラリーは、通常公開や定期的な特別展、地域社会との連携協力により、地域の活力向上に大きく貢献してきた。2023 年 12 月には京都府下で法改正後初となる登録博物館（第 1 号）に認定され、その社会的地位と信頼性を確固たるものになっている。

2026 年度は、前年度比、総予算を縮減し運営する。しかしながら、当財団がこれまで築いてきた「完全予約制ガイドツアー」を基盤とする質の高い鑑賞機会の提供、および登録博物館として地域に貢献する事業運営は、しっかりと維持・発展させる。

本年度は、効率的な運営体制へのシフトと内部人材による「内製化」を推進することでコストを圧縮し、予算削減下にあってもコレクションの適切な動態保存と修復、技術継承に関わる重要プロジェクトを計画通り実行する。同時に、在日スイス大使館、京都府、向日市、長岡京市などの行政・教育機関、ならびにメディア各社との信頼関係をさらに深め、地域の幼稚園・小学校・中学校などの施設見学受入れを充実させる。地域に根差した博物館の地位を確立するとともに、持続的な社会的認知度の向上を図る。

I. 永守コレクションギャラリーの運営

アンティークオルゴール、オートマタ、その他自動演奏装置などの収蔵品を適切な室内環境で管理・保存し、歴史的資料としての調査研究を行う。ギャラリーでの展示を通じて、広く一般へ向けてコレクションを公開し、文化振興に寄与する。

1. 常設展示

完全予約制による高品質なギャラリーガイドツアーの枠組みを維持し、希少価値の高いコレクションとその歴史的・文化的変遷をわかりやすく紹介し、魅力あるギャラリー運営に努める。

- 開館日： 毎週月・火・木・金（祝祭日、GW、お盆期間、年末年始を除く）
- 開館時間： 10:00～16:00（完全予約制）
- ギャラリーガイドツアー時間（各回 60 分）：
◎10:30～11:30 / ◎13:00～14:00 / ◎15:00～16:00
- 入館料： 無料（ワークショップなど一部のイベントでは参加費を徴収）

2. 企画・特別展示

春休み、夏休み、冬休みの時期に合わせた年間 3 回の企画・特別展示を継続する。常設

展とは異なった切り口によるテーマ設定を行うことでコレクションの魅力を発信し、新たなファン層の獲得を目指す。

また、教育機関の長期休暇に合わせたワークショップや特別ガイドツアーなどの多様な体験機会を提供し、教育普及に努める。さらに、京都府や向日市・長岡京市の教育行政と緊密に連携し、地域の幼稚園・小学校・中学校の施設見学を積極的に受け入れる。

3. 保守・整備および修復・修繕

コレクションの長期的保存に向け、半期毎（年2回）の全収蔵品メンテナンス点検・状態ランク付けを継続し、不具合箇所の順次修繕を行う。技術継承と動態保存に関する重要施策を予定通り推進する。

- **リプロダクション（複製）施策の継続：**希少価値が高く経年劣化が目立つオートマタの技術・文化を保存・継承するため、2作品を目途にリプロダクション施策を講じる。
- **内製化体制の強化：**メンテナンス担当者の育成を進め、調整・点検業務の内製化率を向上させる。これにより外部委託コストの効率化を図り、財団内部への技術蓄積を加速させる。

4. 研修

スタッフの専門性向上と資質向上を図り、プロフェッショナルの育成に努める。

- **外部研修：**文化庁等が主催する研修会（実地、オンライン）へ参加し、学芸員の専門知識を向上させる。
- **内部勉強会：**館長を講師として技術勉強会を継続実施し、操作方法の習熟と修復技術の向上を効率的に推進する。

5. 情報発信

費用対効果の高いプロモーションを軸に、新たな顧客創出を目指す。

- **ホームページ・メディアリレーション：**公式サイトを積極的に運用するとともに、メディア各社とのリレーションを強化し、タイムリーかつ適切な情報発信を行う。
- **チラシ配架：**京阪神を中心とした美術館や公共施設でのチラシ配架を継続する。関係各所との「相互配架」など協力関係を強化し、広報経費を抑制しつつ認知度向上を図る。

II. 「オルゴール記念館すわのね」での展示事業

2016年3月より継続している「オルゴール記念館すわのね」との共同展示・共同事業を展開する。両館が緊密に連携し、双方の保有するノウハウやネットワークを相互補完することで、最大限のPR効果を生み出し、オルゴールファン層の拡大と相互の来館誘致を促進する。

Ⅲ. 資料の収集

世界屈指のコレクションのより一層の充実を図るため、アンティークオルゴールおよび関連資料を計画的に収集する基本方針を継続する。また、寄贈品の受け入れ態勢を整える。

- **資料の収集に向けた調査の継続：** 将来的に永守コレクションへ加えるに相応しい歴史的・資料的価値の高い作品の選定に向けて、国内外におけるアンティークオルゴールおよび自動演奏装置、日本からくり等に関する基礎的な調査研究を継続して実施する。

以上